



ふれあい

2021年4月
現在の会員数
男性 1,334名
女性 613名
合計 1,947名

2021年/4月
169号

題字 府中市長 高野律雄 書

公益社団法人府中市シルバー人材センター発行/東京都府中市府中町1-30 ふれあい会館1F/TEL042-366-2322



昨年3月、コロナ禍の収束を待つ「ふれあい会館」前の桜



小・中学生のプログラミング講座

●目次

- 令和3年度事業計画のあらまし …… 2
- 業務・安全・広報委員会の活動 …… 3
- 働く会員の職場訪問 …… 4
- 生涯現役・輝くシルバーさん[®] …… 4
- 楽しく学ぼうプログラミング講座 …… 5
- 令和2年度の各種PR活動 …… 5
- ホームページのリニューアル …… 5
- 事務局職務分担のお知らせ …… 6
- 第72回定時社員総会の開催について …… 6
- 訃報・編集後記 …… 6

令和3年度 事業計画のあらまし

1 基本方針

第3次中期計画4年目となる本年は、会員増強への取組みにより着実な成果を上げ、目標達成に向けさらなる努力を続けていく。

新たな日常をはじめとする社会的な大きな変化への対応が求められる中、安全就業への意識を高め、会員が安心して働くことのできる就業環境の確保に努める。

2 事業実施計画

(1) 組織体制の充実強化

センターは、基本理念である「自主・自立・共働・共助」の一層の浸透と会員相互の理解を深め、組織体制の充実強化に努める。

- ① 理事会の毎月開催
- ② 経営戦略会議の月1回開催、運営調整会議の隔月開催
- ③ 会員の増強、会員の資質向上等を図るための研修や講習の実施
- ④ 委員会組織を見直し、活力アップ
- ⑤ 情報の開示、個人情報管理
- ⑥ 職群班や仕事別グループの会員同士の協調性・思いやりの醸成
- ⑦ 事務の省力化・効率化
- ⑧ 監事による内部監査と、公認会計士による外部監査の実施

(2) 就業機会の開拓及び提供

東京しごと財団指定の労働者派遣事業と請負事業を合わせ実施する。新規事業の開拓を行い、管理業務職場の適正なローテーション化を進め、公平な就業機会を確保する。

- ① ポストコロナ対応の就業開拓
- ② 不適正な請負契約を解消、法令遵守の就業、派遣事業への切替え
- ③ 「しごと情報」の会員活用推進
- ④ ホームページの随時更新
- ⑤ 未就業会員への就業意識の啓発
- ⑥ 就業状況等のデータ管理推進
- ⑦ 就業機会の適正化のため、就業年齢・就業年限の遵守と適正配置
- ⑧ 会員交流事業の充実・拡大、会員相互の親睦の推進

(3) 会員の増強

事業の趣旨、就業のあり方などへの理解を深め、就業や組織活動に積極的に参加できる会員の獲得に努める。

- ① 入会説明会の毎月実施
- ② 市報への会員募集記事の毎月掲載、年3回の新聞折込み広告
- ③ 市役所等で就業相談会の開催
- ④ 東京しごと財団主催の会員拡大推進事業への積極的参加

(4) 女性活動

「女性委員会」を発足させ、子育て支援・生活支援事業等の研修会・講習会を開催し、女性会員の増強と就業の拡大に努める。

- ① 女性限定の入会説明会の開催
- ② 子育て支援事業、生活支援事業の拡大を図る研修会実施
- ③ 市民シニア女性対象の家事支援・子育て支援講習会等の実施
- ④ 1人就業・少人数グループの女性会員との業務打合せ・交流事業

(5) 普及啓発活動

事業の理念等を広く地域社会に周知し、市民の支援を得る。

- ① 「ふれあい会館まつり」の開催
- ② 市民講演会等の企画、実施
- ③ 文化センター設置の独自掲示板を活用、積極的なPR活動
- ④ 事業所向けの派遣事業案内チラシの作成、市内事業所への配布
- ⑤ 年4回の会報「ふれあい」の発行、更新したホームページの活用
- ⑥ イメージアップを図るため、府中市等の主催イベントへの参加
- ⑦ 市内鉄道駅へのポスター掲示、ちゅうバスの車内広告

(6) 社会貢献活動

新しい生活様式を前提に、地域ボランティア活動を展開する。

- ① 府中駅周辺けやき並木清掃、市主催の多摩川清掃等の参加

(7) 研修・講習の充実

質の高いサービスを提供するため、研修・講習を実施する。

- ① 新入会員研修等の実施
- ② 東京しごと財団の就業支援講習、関係団体の研修会への参加
- ③ 独自の接遇研修、除草・草刈・清掃・植木剪定等の講習会の開催
- ④ 役員・委員会委員・地域班長の先進センターとの情報交換等
- ⑤ 派遣事業会員への教育訓練

(8) 安全対策の推進

会員の安全就業はすべてに優先し、就業中の事故、経路途上の事故の未然防止のため指導を強化する。

- ① 安全計画・推進計画の策定、新型コロナウイルス感染症予防対策
- ② 安全就業基準等の作成と徹底
- ③ 事故発生の検証、個別対応策
- ④ 安全就業基準による安全就業巡回指導・パトロールの強化
- ⑤ 安全推進大会の年2回実施
- ⑥ 安全・健康ニュースの年4回発行



業務委員会の活動

働くことが健康のもとだといまますように、当センターには80歳を過ぎてても、身体も頭も本当に元気な仲間が沢山います。

皆さんが仕事に励むことで、気持ち前向きとなる。この気持ちが大切なのではないでしょうか。

業務委員会では、会員の皆さんが楽しく働けるようにサポートしていきたいと思っています。

そのため、より多くの会員の皆さんに公平な就業機会を提供するための公募や、就業場所の活性化を図るために施設を巡回訪問したり、職群班のリーダーへのサポートなどを行っています。しかし、これらの活動も、当センターの就業全体からみるとほんの一部分にしかすぎません。

皆さんが、就業上のことで問題があったり、困ったことがありましたら、事務局を通じて遠慮



なく業務委員会に言ってきたください。

皆さんと一緒に考えて、より良いシルバー人材センターにしていきたいと思っています。

業務委員長 田村孝二

安全委員会の活動

安全委員会は、会員9名と職員1名で構成されています。

安全委員会では、会員の就業中や経路途上の事故を未然に防ぐため、就業規則・基準を作成しています。その厳守に努めるよう注意喚起を行い、月1回の安全パトロールで、基準に従った作業を行っているかどうか、チェックシートを基に確認しています。

また、安全意識と健康維持の高揚を図るため、安全推進大会を年2回開催し、安全健康ニュースを年4回発行しています。その他、自転車安全競技会や交通安全パレードに参加して、交通事故防止活動も行っています。

2020年度は、1月末現在、経路途上の事故が1件、就業中の事故は12件(うち賠償事故は6件)、計13件の事故が残念ながら発生しています。発生した事故については、原因を分析して、再発防止に役立つ情報を会員の皆様に提供しています。

安全は自分で守るものです。体力を過信せず、無理せず、油断せず、規則・基準を守って楽しく仕事を続けましょう。

最後に、新型コロナウイルス感染予防のワケチンの接種は可能になりつつありますが、治療薬の開発にはまだ時間がかかるようです。我々会員は高齢者です。くれぐれも感染しないようご留意ください。

安全委員長 瀬谷周三



広報委員会の活動

広報委員会は会員6名と職員1名で構成され、広報紙「ふれあい」の取材、編集、発行のほか、掲示板の管理などの仕事に携わっています。



毎月初めの水曜日に委員会を開催し、3か月ごとに発行する「ふれあい」の記事や写真、取材、発行月前は記事内容の校正、割り付け、印刷業者との折衝を行っています。現在はコロナ禍でセンター行事が中止となり、おまつり、地域懇談会、ボランティア清掃、研修や親睦行事の取材をやむなく中止しています。

また、センターの掲示板は11の文化センター、ふれあい会館、会員宅など市内に17箇所あります。広報活動は掲示板の安全確認とポスターの点検を3か月に一度おこなっています。そのほか、ちゅうバス車内の窓上ポスターの掲出にも対応しています。

広報委員長 清水正之

働く会員の職場訪問
小柳公園清掃班

今回は公園清掃班のうち、小柳町6丁目にある小柳公園運動広場の清掃班の皆様を訪問しました。場所は、西武多摩川線競艇場前駅から徒歩10分のも摩川べりの公園です。

現在の会員は8人で、男性3名、女性5名が従事し、皆さんと仲良く働いています。仕事は月5回、1日3時間で、朝8時45分集合で、9時からの就業です。

まず、各自ポリ袋を持ち公園内のごみ拾いから始め、熊手で落葉を処理し、小枝などを拾い2〜3か所に集めます。

特に、10月から12月の3か月は回数を2回増やし、落ち葉と格闘する大変な時期です。その際は公園に接する路上の落ち葉も清掃します。

集めたごみは、空き瓶・空き缶・ペットボトル・燃えるごみ・燃えないごみに分別して、ワークブランチに納め報告します。

清掃班リーダーの清水さんにお話を聞きました。昭和43年秋に府中市民となり、65歳で勤めてい



小柳公園運動広場の清掃



清水 英樹リーダー

た是政の牛乳会社を退職し、シルバー人材センターに入会したそうです。いろいろな職場を経験して、80歳になったとき、郷土の森の交通遊園から現在の小柳公園の清掃員になり、月5回、働いています。元氣一杯の現役、86歳です。毎朝の散歩は5千歩以上、是政橋の河川敷でラジオ体操をしています。今後もし生懸命に頑張ってくださいますとのことです。

生涯現役！輝くシルバーさん⑱

運転班 近藤 裕昭さん
やすあき



中市シルバー人材センターには昨年10月に入会しましたが、たまたま運転班の仕事紹介があり、運転班に入りました。

運転班の主な仕事は、植木班の脚立やはしごを仕事が始まる前に作業場所に届けることや、その回収、剪定後の枝葉の回収、草刈班や除草班などの用具運搬や回収などです。

「運転班」の近藤さんは昭和26年に福島県塙町はなわまちで生まれました。塙町のキャッチフレーズは「花と親しむ」、「森林浴を愉しむ」とあるように、自然豊かな農林業の町です。

小学生のときには野山を走りまわっていたそうですが、中学のときに宮城県名取市に移り、10年間の学生生活を送りました。

1964年の東京オリンピックのときに中学生聖火ランナーとして走ったこと、大学祭で実行委員として活動したこと、卒業アルバムバムの編集企画などをしたことなどが、学生時代の楽しい思い出のことです。

府中市の電気関係会社に入社し、府中市に住み40年になります。その会社に68歳まで勤め、府

休みのときには奥様とお菓子づくりをしたり、音楽を聴いたりして、充実した生活を送っています。



楽しく学ぼう プログラミング講座

シルバー人材センター主催の「楽しく学ぼうプログラミング講座」が、1月18日から3月15日までの全9回(毎週月曜日の17時半から2時間)の日程で、ふれあい会館で開かれました。

この講座には、募集対象の小学校5・6年生、中学1年生の男女3名が参加しました。講師はパソコン職群の小澤さんが務め、アシスタントは月井さんです。

少人数でアットホームな雰囲気ですが、小澤講師から受講にあたってのはじめとして、「授業の始めと終わりには必ず挨拶しましょう」などと話しがありました。

各自が自己紹介し、「きつかけは何ですか」の講師の問いに、「やってみたかった」、「面白そうだから」などと答えていました。

プログラミングとは、ハードウェアのパソコンに実行してほしい作業を指令する作業です。

まずは、基本的なコンピュータ言語やパソコンの操作を学びました。その後、今回の目的のビジュアルプログラミング言語のスクラッチ「Scratch 3.0」でスプライトを使って時計を作ったり、簡単なアニメー



ションやしゃべるストーリーを作ったりと、楽しい内容が盛りこまれた講座が実施されていきました。

パソコンプログラミングは、学校によって多少の違いはありますが、小学校では必修化され、中学校では技術家庭科で必修化されつつあります。この講座で学んだことが将来コンピュータの世界でも、日常においても創造的な考えにつながればよいと思われました。



当センターのPRのため、チラシ、新聞折込み広告、掲示板用ポスター等を作成・発行して各種の広告を実施しています。また、今年発行された、ちゅうバスのバスブック(時刻表)の裏表紙に「お助け隊」の広告を掲載しています。今後の計画としては、ちゅうバスの車内への広告掲載や、京王線駅貼りのポスター等、これからも、幅広い層の方々が目される媒体を通じて、更にホームページも刷新し当センターのPR活動を行っています。

令和2年度の 各種PR活動



本年3月から、センターのホームページがリニューアルされました。特徴として、見やすいレイアウト、豊富なデザインが掲げられ、事務局職員によるタイムリーな作業が可能なものです。

サポートは、NRI(野村総合研究所)情報システムの支援を受けています。事務局では、最新情報を発信し、会員、発注者のほか市民や各方面に、PRしていきたいと考えています。

ホームページの リニューアル

事務局職務 分担のお知らせ

4月1日時点

■関根 昌一 事務局長
総括

■湯沢 信好 事務局長代理

総務委員会、総会、理事会等庶務、入会説明会等

■市川 政史 主任

広報委員会、教室事業、派遣事業等

■小谷田 洋平 主任

業務委員会、地域委員会、市自
転車関連他

■石田 智也 事務職員

■佐伯 光浩 事務職員

■佐々木 友也 事務職員

安全委員会、学校関連業務・公
園清掃等

■中田 公留実 事務職員

民間清掃、子育て支援、放課後
子ども教室等

■馬場 善章 継続雇用職員

経理全般

■竹田 清 継続雇用職員

会員就業交流事業検討会、民
間・公共施設清掃全般

■佐藤 優子 嘱託職員

女性活動検討会、家事援助
サービス、民間清掃等

■鶴田 理恵 嘱託職員

民間全般(清掃・軽作業等)

■三浦 佳恵 臨時職員

■小畑 朝江 臨時職員

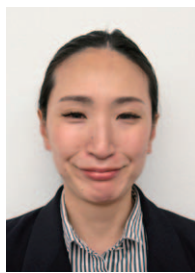
◆新規採用臨時職員

4月から事務局臨時職員として採
用されました。



三浦 佳恵
臨時職員

皆様のお役に立てるよう頑張ります。
よろしくお願いたします。



小畑 朝江
臨時職員

みなさまの活動を支えられるよう頑
張ります。よろしくお願いたします。

◆退職

3月31日付けで継続雇用職員の
齋藤豊さん、臨時職員の川上玲子さ
んが退職されました。長い間のご勤
務おつかれさまでした。

第72回

定時社員総会の
開催について

日時

令和3年6月21日(月)
午後1時より

会場

府中の森芸術劇場
ふるさとホール

対応

昨年同様、コロナ対策
として会場への出席の
自粛を促し、委任状等
での対応をお願いし
ます。

討

報

- 今井 久世 (日鋼町)
- 松崎 正春 (新町)
- 山岸 律子 (西原町)
- 塩見 輝夫 (押立町)
- 高橋 脩 (押立町)
- 山崎 正勝 (紅葉丘)
- 渡辺 博 (若松町)
- 貝瀬 幸男 (四谷)
- 柳葉 千代子 (宮西町)
- 齋藤 秀男 (幸町)
- 石原 幹生 (紅葉丘)
- 三池 三郎 (幸町)

慎んでお悔やみ申しあげます

編集後記

今年の桜開花は、昨年と同じ
観測史上最速でしたが「さくら
祭り」は縮小開催となり、「ふれ
あい会館まつり」も残念ながら
2年続けて中止しました。

桜と言えば、さささまのこ
とおもひだす さくらかな(芭
蕉)の句にもあるように、今年
は、東日本大震災の10年目に
あたり、警告ともとれる大き
な余震もあり、府中市長も、広
報ふちゅうや災害情報伝達の
メールで、災害の記憶を忘れな
いようにという趣旨の発信を
されています。

新型コロナウイルスの緊急
事態宣言が解除となりました
が、まだ予断を許さない状況に
あります。当センターもいろい
ろな催しが中止、又は延期と
なっています。このような状況
下でも就業に励まれた皆様に
は御礼を申し上げます。

今号が皆様のお手元に届く
ころには、令和3年度の各種
行事や、就業が計画通りに行
われ、会員の皆様ますます
活躍されることを願ってやみま
せん。

(広報委員会 清水)

